

基本方針編

※赤字：改定箇所

目指す  
将来

本市の公共施設が持続可能な保有量や運営形態となり、安心安全に維持管理されている状態  
公共施設で提供するサービス機能が十分に活用されている状態

【 第1章 財産経営の課題 】 → 時点修正

- 人口の減少による暮らしや地域社会の変貌への対応
- 財政状況の逼迫の中での維持管理コストの確保

【 第2章 財産経営の基本的な考え方 】

公共施設の基本方針

総量削減

サービス機能の維持

インフラ資産の基本方針

メンテナンスサイクルに基づく  
計画的・効率的な維持管理・更新

既存施設の長寿命化

基本方針推進のための財産経営4つの柱

- ①施設の最適化
- ②施設の長寿命化
- ③歳出の削減
- ④歳入の確保

- 計画期間 → 計画期間は30年とし、令和33年（2051年）までとする
- 数値目標 → 削減数値目標（削減効果額等）の設定
- 計画の位置づけ → 「基本方針編」と「マネジメント編」にて構成

【 第3章 推進体制と進め方 】 → 時点修正

- 新潟市財産経営推進本部（本部長：市長）のもと公共施設、インフラ資産部会において計画策定・進行管理

- インフラ資産：各資産別に策定した計画に基づき、現状維持を重視した計画保全を実施
- 公共施設：「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」に基づき5つのステップにより計画の具体化・深化と見える化を実施

# 財産経営推進計画 改定骨子（案）

## 公共施設マネジメント編

### 基本方針

### 総量削減

### サービス機能の維持

※赤字：改定箇所

#### 【 第1章 目的等 】

- 対象施設 → 基本的に全ての公共施設を対象
- 計画の位置づけ → 2つの方針と4つの柱の推進に向けたガイドラインとしての位置づけ

#### 【 第2章 これまでの取組み 】

- 施設カルテ・財産白書の作成 → 施設再編検討時に提示したうえで、各施設の方向性を検討
- 地域別検討資料の作成 → 地域ごとの公共施設の配置状況、まちづくりの視点での課題を整理
- 地域別実行計画の策定 → 本計画の個別計画として地域別の「実行計画」を策定
- 長寿命化計画の策定 → 存続施設の適切な維持管理による長寿命化の実施

#### 【 第3章 公共施設マネジメント上の課題 】

- 地域別実行計画策定の迅速化 → 市民対話を通じ、計画を策定するため時間を要する
- 全市域圏域とする施設の施設再編の実行 → 全市域圏域とする施設の検討に未着手
- 施設配置の基本的な考え方の整理 → 施設種類ごとの配置方針の策定

#### 【 第4章 施設種類ごとの配置方針および方針に基づく再編案の作成 】

- 施設種類ごとの配置方針 →
- 施設再編案の作成 →
- 圏域Ⅰ・Ⅱの施設種類ごとの施設再編案の位置づけ
- 圏域Ⅲ（地域密着施設）の再編案の位置づけ
- 削減数値目標の設定

#### 【 第5章 数値目標達成のための方策 】

- 圏域Ⅰ・Ⅱ施設の再編着手 →
- 圏域Ⅲ施設の再編着手 →
- 経営改善方策 →
- 計画の進捗管理と改定（PDCAサイクル） → 10年に一度計画の進捗状況確認及び更新（改訂）を実施